

日本在宅医学会の在宅医療への取り組みについて

「地域包括ケアシステム」が推進される中、「在宅医療」の中核機能としての役割は更に増し、連携機能も広がると考えられる。これらの社会要請に答えるため、以下の機能を強化して行く。

- 1) 「かかりつけ医機能の中に本来在宅医療は含まれる」との認識のもとに、「開業されている医師」も含め、学会員の拡充に努め、「在宅医療」の教育研修の更なる充実に努める。
- 2) 面展開における「在宅医」の「負担軽減」のための「地域拠点」構築支援のため、知識、経験にも秀で「支援方略」にも通じた「在宅医療専門医」を養成し、各地域の行政、医師会とも協調して「支援体制」の整備につとめる。
- 3) 「在宅療養支援アセスメント方式」を各地域の医療機関の機能分化の一つとして位置づけ、「在宅医療」ならびに「地域包括ケア」での「安心」「安全」「質の均てん化」を担保する方略として、各地域に応じた方法で推進を図る。
- 4) 「支える医療・医学」の研究のためには「脆弱性の研究・対策」が不可避であり、研究機関等と協働して推進する。
- 5) 「在宅療養アセスメント方式」において、同意を頂いた症例について、データを集積し、「在宅医療症例データベース」構築の基とする。
- 6) 在宅医療、地域包括ケアに必要な教育・研究・開発を推進する。

一般社団法人 日本在宅医学会

[役員]

顧問： 日野原 重明 佐藤 智
代表理事： 前田 憲志
副代表理事： 石垣 泰則 平原 佐斗司
監事： 前沢 政次 辻 彼南雄
理事： 一戸由美子 磯沼 弘 井手 宏 今村 昌幹
大石 善也 大城 一 太田 秀樹 奥山 尚
小野 宏志 小野沢 滋 川越 正平 川島 孝一郎
木下 朋雄 木村 琢磨 葛谷 雅文 坂本 仁
白髭 豊 鈴木 央 田城 孝雄 田中 茂樹
田村 学 茅根 義和 鶴岡 浩樹 永井 康徳
服部 信孝 原 龍馬 古屋 聡 宮森 正
森 清 泰川 恵吾 山路 義生 山中 崇
和田 忠志 (50音順)

事務局長

横山 和正

事務局：

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1 順天堂大学医学部神経学教室内
TEL and FAX 03-5802-3490 E-Mail : zaitaku@juntendo.ac.jp
URL : <http://www.zaitakuigakkai.org/index.html>

[沿革]

- 1994年 佐藤智元会長の呼びかけのもと、在宅医学会の前身となる「在宅医療を推進する医師の会」が発足。
- 1999年 「在宅医療を推進する医師の会」を母体として「日本在宅医学会」を設立。
- 2002年 専門医制度発足。
- 2005年 認定を開始。
- 2008年 研修プログラムの認定制度を開始。
- 2009年 専門医用テキスト「在宅医学」発刊。同年4月から全国の研修プログラムで、在宅医療専門医研修を開始。
- 2010年 認定専門医試験を開始。
- 2012年 一般社団法人日本在宅医学会となる。

2013年12月現在

会員数 1888名 (正会員 1578・準会員 290・事業者 20社)

プログラム数 82プログラム

専門医数 190名